

第1回 江別市公園のあり方検討委員会

議事録

日時：令和8年（2026年）4月28日（火）14：00～16：00

場所：江別市 市民会館 3階31号会議室

■出席者

1. 委員（敬称略）

（学識経験者）千里 政文 : 北翔大学
我妻 尚広 : 元 酪農学園大学
（市民団体）クック丈慈ジェームス : 江別市スポーツ振興財団
櫻澤 美穂 : 江別市PTA連合会
瀬能 明日香 : えべつ観光協会
森谷 久美子 : 江別市女性団体協議会
（自治会）砂川 英雄 : 江別市自治連絡協議会
（指定管理者）秋元 寿也 : 江別環境整備事業協同組合
（市民公募委員）蝦名 葉月
河原 明雄

2. 事務局

江別市長	後藤 好人
建設部 部長	惣万 祐仁
次長	木谷 泰彦
都市建設課 課長	上田 裕之
都市建設課 整備計画担当参事	山崎 孝雄
都市建設課公園係 係長	高橋 正志
都市建設課公園係	枯木 翼
	庄子 郁乃

3. 傍聴者

1名

議論要旨

1. 開 会

- 定刻による開会宣言

2. 委嘱状の交付

- 後藤好人市長より各委員へ委嘱状交付
- 委嘱期間は令和8年（2026年）4月28日より提言書提出日まで

3. 市長挨拶

- 少子高齢化、人口減少等の社会情勢に併せて、公園のあり方を考えなくてはならない
- 公園は今の使い方で良いのか、公園のあり方を検討する時期に入った
- 江別市内には232の公園があるが、その数が必要なのか。遊具の更新や公園のリニューアルには大きな予算が必要
- どう公園を維持していくか、どういう方向に進めるべきかを議論いただきたく、委員会を設置
- 公園について、様々な立場で奇譚のない意見を出していただきたい

4. 委員紹介

前頁出席者委員のとおり

5. 事務局職員紹介

前頁出席者事務局のとおり

6. 委員長、副委員長の選任

- 「江別市公園のあり方検討委員会設置要項」第5条第2項により、委員の互選にて委員長を選任する
- 副委員長は委員長の指名により選任する
- 委員長および副委員長を以下のとおり決定
委員長・・・千里 政文（学識経験者・北翔大学）
副委員長・・・我妻 尚広（学識経験者・元 酪農学園大学）

7. 議 事

【委員会の運営について】

- 江別市市民参加条例第8条第1項により公開にて開催
- 傍聴希望者がいる場合は、傍聴を認める

【議事（１）公園のあり方検討委員会の設置目的】

（事務局説明）

- 社会情勢の変化に併せ、公園も変化していかなければ、将来にわたり公園としての役割や魅力を保ち続けることは非常に難しいと考え、今後の公園はどうあるべきかの検討をお願いしたい
- 所掌事項は以下の３点
 - ・公園及び施設の再編、集約化の検討
 - ・公園整備における民間資金活用に係る検討
 - ・公園の管理、運営方法についての検討
- 公園のあり方検討委員会の提言をもとに「都市公園整備方針」を策定予定。策定にあたっては、「都市計画マスタープラン」、「緑の基本計画」と整合を図る
- 「都市公園整備方針」を今後、公園の各事業に反映したい

【議事（２）江別市内の公園の現状について】

（事務局説明）

- 江別市の現状は以下のとおり
 - ・石狩平野に位置する平坦な地形のまちで、総面積は 187.38 km²
 - ・市内の 8 割を田園が、2 割を住宅街が占めている農村と住宅街の近い緑豊かな街
 - ・J R や高速道路、国道等幹線道路へのアクセスが良い環境
 - ・市内には 4 つの大学（北翔大学、酪農学園大学、札幌学院大学、北海道情報大学）が存在しており、大学と連携し地域課題解決や活性化に取り組む
 - ・市の西側には貴重な環境を有する野幌森林公園が位置する
- 江別市の人口については以下のとおり
 - ・令和 2 年度国勢調査の人口は約 12 万 1 千人、しかし、令和 8 年 4 月 1 日時点で約 11 万 7 千人と減少している
 - ・人口のピークは平成 17 年の 12 万 5 千人で、以降減少。令和 27 年には 10 万人を下回る見込みで、令和 52 年には現在人口の約半数まで減少する見込み
- 江別市の公園については以下のとおり
 - ・市内の公園数は 233 箇所。うち 1 箇所は北海道が管理する「野幌森林公園」のため、江別市が管理する公園は 232 箇所
 - ・市民 1 人あたりの公園敷地面積は 17.1 m²であり、国の定める 1 人 10 m²以上の標準を上回っている
 - ・公園のうち 7 割は区画整理や開発行為など住宅造成の際につくられたものであり、同じような施設が多く、耐用年数も同じような時期に迎える状況
 - ・「地区公園」は江別地区「泉の沼公園」、野幌地区「湯川公園」、大麻地区「大麻中央公園」と各地区に 1 箇所ずつ整備されている
 - ・「近隣公園」は各地域を代表する公園として、水遊び施設である「せせらぎ」や、大型複合遊具が整備されている
 - ・「街区公園」は最も身近な公園であり、標準的な遊具やベンチを設置
 - ・その他、運動公園、都市緑地、緑道など

○公園の管理について

- ・通年にわたり巡回、点検、清掃を実施し、安全に遊べることを第一に管理を実施
- ・春には遊具の点検、清掃、施設整備、樹木の冬囲い撤去などを行い、ゴールデンウィークまでに公園を解放
- ・夏は草刈り作業や、水遊び場「せせらぎ」の解放
- ・秋は落ち葉清掃、台風に備えた樹木管理
- ・冬は遊具周りの積雪の踏み固め、冬囲いなど
- ・「指定管理者制度」も平成20年度から実施
- ・市民協働の取組みである「アダプト制度」に自治会や高齢者クラブ等の皆様に協力いただき、清掃などを行ってもらっている

○公園の整備について

- ・「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に遊具を更新中。大型複合遊具更新の際は公園周辺の小学生に対し、アンケートを実施し、子どもの希望を反映した遊具の選定を実施。その他、トイレやフェンスなどの公園施設についても適宜更新や修繕を実施している
- ・「市民参加による公園づくり事業」を平成9年度から実施し、地域の自治会や小学生などとワークショップを行いながら公園の再整備の計画づくりを行っており、好評な事業となっている

○公園に係る費用について

- ・令和6年度の維持管理費は約2億3千8百万円、整備工事費は約2億3千7百万円
- ・維持管理費と整備工事費を合わせた合計値は平成27年度から令和6年度の10年間で約2倍に増加。年平均で約7%の上昇率となっている
- ・指定管理者への委託料の支払いは維持管理費に含まれるが、当初年2%の増加で見込んでいたが、直近3年間では年約6.8%の増加となっている
- ・近年の労務費や資材高騰により事業費は増大し、計画どおりの遊具更新や維持管理のレベルを保つことが困難となっている

<議事(1)(2)に関する質疑・意見>

なし

【議題(3)公園の課題について】

(事務局説明)

○事務局の考える公園の課題は以下のとおり

- ・公園施設の老朽化に伴う改修費用と維持管理費が年々増加しており、このままの規模で整備に費用をかけて良いか
- ・大きな公園には改修が必要な施設が多く、多額の費用を要するがどのように整備する必要があるか
- ・樹木や遊具に関する苦情が多いなか、維持管理をどのように考えるか
- ・同じ自治会内に近い距離で同じような公園があるが、あまり使われていないのではないか
- ・地域の求める公園とは何か、公園が地域と関わるにはどうあるべきか

- ・冬の公園をどのように使うか
- ・農村地区にある公園はどうあるべきか
- ・公園の利用を促進するため、民間資金の活用する手法
- ・その他、委員会での意見をもとに議論を進めたい

○課題の1つである、公園の重複については以下のとおり

- ・例1 江別地区 元江別本町

地域には「もくれん公園」「さるびや公園」「たけのこ公園」「みつばち公園」「なのはな公園」などの街区公園がある。

街区公園の誘致距離である250mごとに円を描くと、円が重なり、一番近い公園同士では120m程度しか離れていない。いずれも同じような規模感の公園となっている。

- ・例2 大麻地区 大麻泉町

地域には「かとれあ公園」「かしわ公園」「ぼたん公園」「かしわ公園」「だりや公園」などの街区公園がある。

例1同様に公園の誘致距離の円が重なっており、公園が混み合っている。

- ・公園が本来あるべき役割や求められる機能があるとは思いますが、同じような公園機能が近い範囲で重複していることは課題である。

○課題の1つである、狭小公園については以下のとおり

- ・狭小公園とは。面積が500㎡に満たない、小さな公園を指す

- ・例1 「ぼっぼ公園」

江別地区一番町にあり、大きさは200㎡程度で一宅地ほどの面積。最低限の遊具しか設置できず、広場などは十分に取れない

- ・例2 「さなえ公園」

江別地区 上江別東町にあり、大きさは200㎡程度。

- ・例3 「たけぶえ公園」

大麻地区大麻新町にある。

- ・狭小公園はどこも同じような遊具が設置されており、どれも似た雰囲気となっている。同様の条件の公園は市内にたくさんある
- ・狭小公園も他公園と同様の草刈りや清掃、巡視の回数となっており、狭小公園のあり方についても議論をいただきたい

○地区公園の現状は以下のとおり

- ・江別地区 「泉の沼公園」

千歳川の河川跡地を利用した公園で水辺が見え、大木などが存在する公園である。

開設は昭和44年で水路や木橋が昭和62年に整備されているが、今は朽ちて残っておらず、現在は使用できない状況

- ・野幌地区 「湯川公園」

沢地地形を活かした公園で、沢付近には橋があり、紅葉が美しい。道内では珍しい遊具もあり、子どもが行列している。

開設は昭和54年で、平成6年から8年にかけて拡張整備を実施。木道整備から半世紀以上経過している。

- ・大麻地区 「大麻中央公園」

2番通という道路が公園の真ん中を横断しており、それぞれ上流側・下流側に池がある。遊歩道は住民の通勤や通学にも利用されている。

開設は昭和44年で、水辺の散策路を平成5年に整備も、朽ちて柱しか残っておらず通行止としている。

- ・これらの地区公園のあり方についても検討いただきたい

○市HPでは、市内各公園の一部について360度カメラで園内を撮影し、紹介中

<議事(3)に関する質疑・意見>

○誘致圏の重複について

(櫻澤委員)

- ・近所にも小さな公園はあるが、小さい子どもなりの使い方もある。しかし、先の事務局説明のとおり、維持管理等にかかる予算も多く、そういった公園はまとめていかなければならないのかと思う
- ・一方、過去に家何軒に対し、いくら公園が必要という決まりがあるような話も聞いた。簡単には統合が進まないのではないか

(我妻副委員長)

- ・宅地開発等の造成年度の違いで、先程の事務局説明のように公園が近い場所に設置されている場所が存在していると思う。当時は法律上それぞれ設置が必要だったと思うが、公園完成後に統合することは可能なのか

▷(事務局回答)

- ・「江別市都市公園条例」の中で、街区公園は概ね250m程度で行ける場所に1箇所配置するという決まりを持っている
- ・250mという範囲は、国が定めたものを市の条例として定めたもので、徒歩圏内を考慮し、今後も基準を変える予定はない
- ・市内では、最近も新しい宅地が作られているが、250mの範囲の中に既存公園が存在すれば、新規公園は不要、なければ新たに配置することとしている。逆に、今年の3月末には、新たな造成地に公園を設置した結果、地域の方が250mの範囲内に行ける公園ができ、地域の真ん中に存在していた既存の小さな公園が不要となり廃止した事例もある

(我妻副委員長)

- ・公園への思い入れなど難しい点もあると思うが、法的には開発年度等に関わらず、現況の公園配置をもとにフラットに検討できることがわかった

(砂川委員)

- ・各委員の居住地による特性などによって公園はどうなっているか、という観点での検討も必要ではないか。各地域で経済、人の集まり、賑わいなどの関連はどうなっており、各地域で公園がどう使われているかの分析が必要ではないか
- ・江別市の人口は減っているが、居住地区周辺では世代交代が進み、新しい家が多く建築され、社会増となっている。近所の公園も小さい子どもが使っているのを見かける

- ・また、近所にある近隣公園は緑も多く、地域のイベントでも活用されているなど、居住地域では公園に問題を感じていない。他地域ではどうなのかも含めて議論をすべきではないか

(千里委員長)

- ・委員の居住地のみならず、江別市民全体からアンケートなどを通じて幅広く意見を集めても良いのではないか

▷ **(事務局回答)**

- ・事務局にて実施について検討する

○市内の公園利用について

(千里委員長)

- ・個人的には最近江別の公園を利用していない。孫とともに、札幌や南幌などの大きな公園を利用している

(瀬能委員)

- ・私は子どもがいる。街区公園が近所にあるが、使われている様子を見ない
- ・子どもたちは地区内にある近隣公園に自転車で行くようだ。また、周辺家族から話を聞いても、家族で出かける場合は南幌町「はれっば」や、札幌市「百合が原公園」などに行くことが多いようだ
- ・江別市内の地区公園は、先程紹介されたように危なくて近づけない場所がある。そういう場所がある公園には子どもを連れていきたくない、というのが正直な感想
- ・危険箇所の改善などを行い、江別市内に気軽に行ける公園が増えれば良いと思う

(蝦名委員)

- ・私も子どもがいる。地域内の街区公園は比較的最近整備されており、地域にも利用されているように思う
- ・休日に子どもたちと出かける場合、駐車場のある江別市内の公園ではなく、南幌町や札幌市の公園に行ってしまう。それはなぜなのか、江別市の公園に来てもらうためにはどうしたらよいかを考えなくてはいけないと思う

(河原委員)

- ・私も子どもがいる。家の隣に古く小さい公園があり、子どもは楽しく遊んでいる。一方、200mほど先に新しくきれいな公園があり、子どもはそちらに行きたいと言ってくる。子どもは近い古い公園よりも、離れていても新しい公園が良いようだ

(千里委員長)

- ・子どもを公園に連れて行く際に、保護者が気にかけるのは「安全性」かと思う。先に紹介された地区公園などは、水に簡単に入れてしまうなど、子どもにとっての安全性に疑問がある。また、スライドでしか状況を知らないの、実際にどのような状況なのか確認も必要ではないか
- ・予算が減少し、人件費は上がっていく中でも、事故を起こすことは避けなければいけない

▷ **(事務局回答)**

- ・次回委員会での現地視察の実施について検討する

(秋元委員)

- ・最近家の建て変わりが多く、公園横の敷地でも家が建て変わっている。新たな居住者の方か

らの意見が多くなっている。家にボールが飛んできたり、敷地に子どもたちが入ってきたりする、などの意見である

- ・意見については理解しているものの、それにより公園での子どもの遊びの種類が減ってしまうというのはどうしたら良いのだろうと悩んでいる

(我妻副委員長)

- ・家の前に公園があるのだが、小さな子どもたちが遊んでいる場所で、小学校高学年や中学生の子どもたちが野球やサッカーをしていて、ボールが小さい子どもたちの近くを行き交う様を見ると危ないな、と感じる
- ・公園で遊ぶ種類は減るが、ある程度の公園の区別・区分は必要。ある程度大きな規模の公園になると、幼児用のコーナーが柵で囲われていて安全になっているというのも見かけるので、同居が可能かと思うが、中程度の公園であればそれが難しく危険と感ずることがある
- ・先の公園の統合という観点だけでなく、遊具や走れるスペースなど、公園の役割を近い範囲で分けることも考えたい

○公園の整備・管理について

(蝦名委員)

- ・近所に狭小公園と思われる公園があるが、最近になって遊具が整備された。よくこんな公園を整備してくれたな、と感じていた

▷ **(秋元委員)**

- ・指定管理者として巡視しているが、近隣の保育園や幼稚園の子どもたちが先生とともに遊びに来ており、利用はされている

(我妻副委員長)

- ・バードウォッチングが趣味で、「泉の沼公園」にも赴いている。自然の多い公園などは、鳥の観察等で遠方から赴く人もいるので、木道などの再整備がされれば、公園の利用需要も多くなるのではないかと

(砂川委員)

- ・公園管理の予算はどういう基準で設けているのか。優先順位などはあるのか

▷ **(事務局回答)**

- ・公園の維持管理費には、草刈りや清掃、遊具の修繕費などがあるが、一番大きく予算がかかるのは草刈りによる人件費である
- ・指定管理者制度により維持管理費を抑えつつ、遊具も優先順位をつけ改修している状況である
- ・維持管理費だけで、現在2億8千万円程度となっている

(千里委員長)

- ・作業の金額はもちろん、近年は人手不足などの問題などもある。手間のかからない維持は困難ではあるが、木道の素材を変えるだけで、耐久年数が10年20年伸びる。そういった提案も必要

(河原委員)

- ・毎週末子どもを公園に連れていくが、1日中いれる公園が江別市内にはないと思う。札幌市の「月寒公園」や「農試公園」、南幌町の「はれっば」などに遊びに行くと、1日滞在し、お昼ごはんや夜ごはん、買い物などお金を落とすことになる
- ・「じゃらん」などで公園特集が組まれており、親はそういったものやSNSで掲載されている公園に行くことが多いと思う。江別市内の公園は紹介されていないように思う。江別市にも市外からも来られるような代表的な公園を1つつくると良いと思う
- ・整備にあたっては、札幌市の「百合が原公園」のようにPark-PFIなど民間の資金を活用し、既存の公園を改修するなどして、未就学児から小学生、中学生、子どもだけでなく高齢の方など全世代が来られるような公園を整備したり、イベントがあると良い

(千里委員長)

- ・南幌町や札幌市の公園は安心して長く滞在することができ、少し仕事ができるようなスペースがある場所もある。また、ソフトクリームやおまんじゅうがあるとつい購買意欲が湧くし、札幌市「平岡公園」の梅ソフトクリームのように公園に行く目的にすることもできる。公園にとっても利用者にとってもウィンウィンの良い関係ではないか
- ・現在、江別市内の公園で民間資金を活用したような公園事例はあるか

▷ (事務局回答)

- ・ない

(千里委員長)

- ・江別市も財政が厳しいのであれば、民間資金の活用という考え方もできるのではないか
- ・民間活力の導入可能性を探るような調査があっても良いのではないか

○その他

(千里委員長)

- ・事務局の説明を聞いて、今までどおりにはいかないと感じる。何も対策せず朽ちていくのではなく、(江別市に)住んでいる私たちが市を良くしていけるよう、意見交換をしたい

【議事(4) 第2回委員会について】

(事務局説明)

○今後の委員会スケジュールの想定は以下のとおり

- ・全6回の委員会開催を予定しており、第5回目の委員会で意見の集約を行い、来年9月頃を目処に提言としてまとめたい
- ・ただし、検討内容によっては、検討回数やスケジュールが延長される可能性があり、ご承知おき願いたい
- ・次回、第2回目は6月下旬から7月上旬に開催を予定
- ・先ほど意見のあった江別市民は公園をどう感じているかというアンケートや、Park-PFIなどの民間活力の導入調査など、こんな形で実施するのはどうか、という案を提示したい
- ・また、実際に公園の様子を見ていただくような方法についても検討したい

<議事（４）に関する質疑・意見>

（我妻副委員長）

- ・ 市民意見のアンケートや公園の利用率などを把握したうえで検討を進めたい。次回は困難と思うが、３回目くらいに間に合うように情報や資料として提示いただきたい

（千里委員長）

- ・ 市民アンケートは特に実施したほうが良いと考える。住んでいてもすべての場所を知っている、利用しているわけではないので、現況把握は重要である

▷ （事務局回答）

- ・ 実施について検討する

8. その他

- 委員報酬手続に関する事務連絡

9. 閉 会

— 以 上 —